いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

令和５年１月１９日
九州地方整備局
熊本河川国道事務所

中九州横断道路 熊本北～下硯川（熊本環状連絡道路）の道路計画を進めるにあたり地域の皆様のご意見をお聞かせください

「社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会」において、計画段階評価※の手続きを進めております「中九州横断道路 熊本北～下硯川（熊本環状連絡道路）」に関し、道路整備の計画検討を進めるにあたり、地域の皆様が日頃から感じている「道路交通や地域の課題」等についてご意見をお聞かせください。
※計画段階評価とは、新規事業採択の前段階において、政策目標を明確化した上で、複数の対策案の比較評価を行うものです。

アンケート調査について

○実施期間　：令和５年１月２０日（金）から令和５年３月１７日（金）

アンケート調査対象者	実施・配布方法
①沿線住民の方	・郵送により配布 熊本市、菊池市、合志市、大津町、菊陽町　※無作為抽出
②その他の地域にお住まいの道路利用者	・道の駅※１にアンケート用紙とアンケート回収ボックス設置 ・九州縦貫自動車道休憩施設※２でWEBアンケートの案内を掲載 ※１：道の駅　すいかの里植木、泗水、七城メロンドーム、旭志、大津　等 ※２：基山PA、広川SA、北熊本SA、宮原SA　等

ヒアリング調査について

○実施期間　：令和５年１月２０日（金）から令和５年３月１７日（金）
○調査対象等：沿線自治体である熊本県、熊本市、菊池市、合志市、大津町、菊陽町及び中九州横断道路 熊本北～下硯川（熊本環状連絡道路）の利用が考えられる団体、企業等
○実施方法　：対面方式

オープンハウスについて

○実施期間　：令和５年１月下旬～２月中旬予定（詳細な開催日・場所はホームページでお知らせします（URL：http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/）

上記のほか、WEBアンケートも実施しております。（１/２０～３/１７まで）
右記のURLまたはQRコードからアンケートサイトにアクセスして回答することができます。
URL https://questant.jp/q/kumamoto-kanjo-h

＜問い合わせ先＞
国土交通省　九州地方整備局　　熊本河川国道事務所
技術副所長　　柴尾　照雄
調査第二課長　矢野　槙一
TEL　０９６－３８２－１２４２（直通）

中九州横断道路　熊本北～下硯川（熊本環状連絡道路）の計画に関するアンケート調査

熊本環状連絡道路は、熊本西環状道路と大津熊本道路と一体となり　熊本都市圏の幹線道路網を構成する道路です。
本調査は、熊本環状連絡道路の道路整備の計画検討を進めるにあたり、地域の皆様が日頃から感じている「道路交通や地域の課題」や道路構造を決める際に「重視すべき事項」についてご意見を頂くことを目的としています。皆様のご協力をお願いいたします。

＜対象区間位置図＞

※ 数字は人口（R2国勢調査）

■アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。
これは、道路の整備方針について 地域の声（地域の皆様、道路利用者、関係団体等）を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。

計画段階評価の流れ

九州地方小委員会　第１回（R4.12.15）
→ 地域の皆様、関係機関企業等への意見聴取【アンケート】（現在はこの段階です）
→ アンケート結果の分析
→ 地域の皆様からの意見も踏まえ、概略ルート・構造等を引き続き検討します。

■九州地方小委員会

九州地方小委員会は、公共事業の効率性や透明性の一層の向上を図るため、学識経験者など第三者から構成される委員会です。 なお、会議資料は、国土交通省九州地方整備局のホームページ でご覧いただけます。

■アンケート対象者

本アンケートは、熊本市、菊池市、合志市、大津町、菊陽町にお住まいの方から無作為に抽出し配布しています。
〇本アンケートは、配布させていただいた世帯のご家族の方を対象に**幅広い年齢層の方からのご意見をお伺いしたい**と考えております。
　お手数ですが アンケートの主旨をご理解の上、回答して頂きますようお願いいたします。
〇ご家族の皆様のご意見をお伺いしたい為、「アンケート回答用　返信はがき」を4枚同封させて頂いております。
　（対象は18歳以上としております。ご家族構成にあわせて必要枚数をご利用ください。）
〇なお、返信ハガキが不足する場合は以下の問合せ先にご連絡ください。
　〔問合せ先〕熊本河川国道事務所　調査第二課　TEL：096-382-1242（直通）

■回答の提出方法及び締切

〇回答は次のいずれかの方法のうち1つをお選びください。
【方法1】同封しています「返信はがき」にご記入頂き、**令和5年3月17日（金）**までに、切手を貼らず郵便ポストへご投函をお願いします。
【方法2】インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、下記A、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、**令和5年3月17日（金）**までに、回答をお願いいたします。

A　右記URLをアドレスバーに入力　https://questant.jp/q/kumamoto-kanjo-h
B　QRコードからアクセス　QRコードはこちら →

＜返信用の郵便はがきの記入例＞

《オモテ面》

料金受取人払郵便
熊本北局承認
0000
差出有効期間
令和5年3月31日まで
〈切手不要〉

861-8029

熊本県熊本市東区西原1丁目12番地1
国土交通省　九州地方整備局
熊本河川国道事務所

中九州横断道路
熊本北～下硯川（熊本環状連絡道路）
計画段階評価　事務局　行

下記にチェックおよびご記入をお願いいたします。

◆あなたご自身の事について【記入または該当する番号に〇をつけてください】

住所　1. 熊本市西区　2. 熊本市北区　3. 熊本市中央区　4. 熊本市東区　5. 熊本市南区　6. 合志市　7. 菊池市　8. 菊陽町　9. 大津町　10. その他（　　）

性別　1. 男性　2. 女性　　年代　1. 10代　2. 20代　3. 30代　4. 40代　5. 50代　6. 60代　7. 70歳以上

問1 熊本市～合志市間の国道3号、57号、387号をどの程度利用していますか？（単一回答）
1. ほぼ毎日　2. 週に数回程度　3. 月に数回程度　4. ほとんど利用しない　5. 利用したことがない

問2 熊本市～合志市間の国道3号、57号、387号を通行する際の主な交通手段は何ですか？（単一回答）
1. 自動車　2. 公共交通　3. バイク　4. 自転車　5. 徒歩

問3 熊本市～合志市間の国道3号、57号、387号を通行する際の目的として、最も多い目的は何ですか？（単一回答）
1. 通勤・通学　2. 仕事　3. 私用　4. その他（　　）

問4 この地域について、課題を5段階（そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない）のそれぞれ該当する箇所に1つだけ〇をつけてください。（5段階評価）【1～5のそれぞれ該当する箇所に1つだけ〇をつけてください】

分類	番号	課題	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
暮らし	1	交通渋滞が発生し、日常生活の移動で支障を感じる					
産業	2	交通渋滞が発生し、企業の円滑な物流を阻害している					
観光	3	熊本市から菊池・阿蘇地域の観光地までのアクセスが悪い					
医療	4	熊本市内の救急医療施設までの搬送に時間がかかる					
防災	5	道路における災害や通行止めに不安を感じる					

《ウラ面》

問5-1 この地域にとって、望ましい構造案を検討する際に必要な「重視すべき事項」を5段階（特に重視すべき・重視すべき・どちらでもない・あまり重視する必要なし・重視する必要なし）で評価してください。
（5段階評価）【①～⑲のそれぞれ該当する箇所に1つだけ〇をつけてください】

分類	番号	重視すべき事項	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視する必要なし	重視する必要なし
暮らし	①	中心部（熊本市）と周辺都市の移動時間が短くなること					
	②	熊本都市圏の交通渋滞緩和が期待できること					
産業	③	中心部（熊本市）と高速ICの移動時間が短くなること					
	④	産業拠点（原水工業団地）から熊本港の移動時間が短縮し、走りやすいこと					
	⑤	県庁所在地間（大分市～熊本市）の移動時間が短くなること					
観光	⑥	熊本市（熊本駅）から観光地への移動時間が短くなること					
医療	⑦	沿線地域から熊本市の第三次救急医療施設への搬送時間が短くなり、搬送時の揺れが少ないこと					
防災	⑧	災害時の対策本部（熊本地方合同庁舎）から被災地へ早く到着できること					
	⑨	災害時に国道等の代替路として利用できること					
道路整備による影響	⑩	生活環境（大気）への影響が小さいこと					
	⑪	自然環境への影響が小さいこと					
	⑫	沿道からの利用がしやすいこと					
	⑬	段階的に開通が図られ、早期に整備効果が発現すること					
	⑭	整備費用が安いこと					

問5-2 周辺地域にアクセスする際に「重視すべき事項」

分類	重視すべき事項	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視する必要なし	重視する必要なし
⑮	渋滞緩和が期待でき、生活環境の改善が図れること					
⑯	地域の産業拠点に隣接し、熊本市内の交通拠点などに早く行けること					
⑰	地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと					
⑱	集落に近接し、第三次救急医療施設に早く行けること					
⑲	災害時に集落に移動しやすいこと					

問6 他に配慮すべき事項や今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由にご記入ください。

＜回答方法について＞
・**P.1～4を見ながら**、回答してください。
・選択回答の設問は、あてはまる番号に1つだけ〇（マル）をつけてください。
・問4、問5-1、問5-2は5段階評価の質問です。**各項目について1つずつ**〇（マル）をつけてください。
・問6の設問は自由解答です。具体的なご意見をお書き下さい。

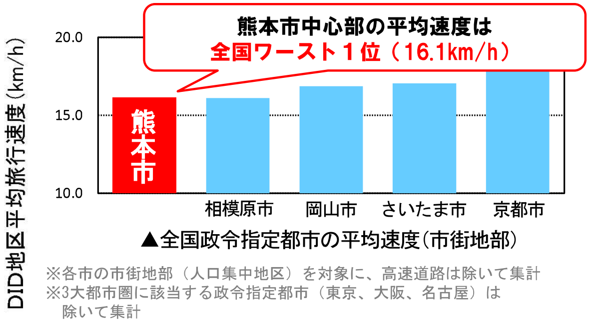
道路交通や地域の課題について

・評価対象区間において、特に問題視されている課題は、「暮らし」「産業」「観光」「医療」「防災」の5つです。

道路交通や地域の課題

1 交通渋滞が発生し、日常生活の移動で支障を感じる

◆熊本市中心部の平均速度は、全国の政令指定都市（3大都市圏除く）のなかで最も低いです。
◆熊本市の発展に必要な道路網の役割として、中心部の渋滞緩和が必要と感じる人が約8割となっています。



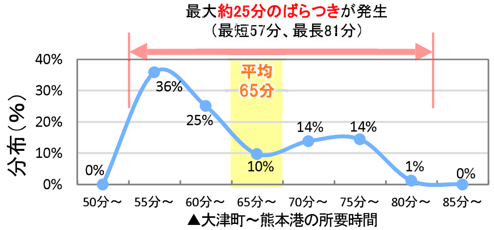
▲全国政令指定都市の平均速度（市街地部）

※各市の市街地部（人口集中地区）を対象に、高速道路は除いて集計
※3大都市圏に該当する政令指定都市（東京、大阪、名古屋）は除いて集計

資料：全国道路・街路交通情勢調査（H27）

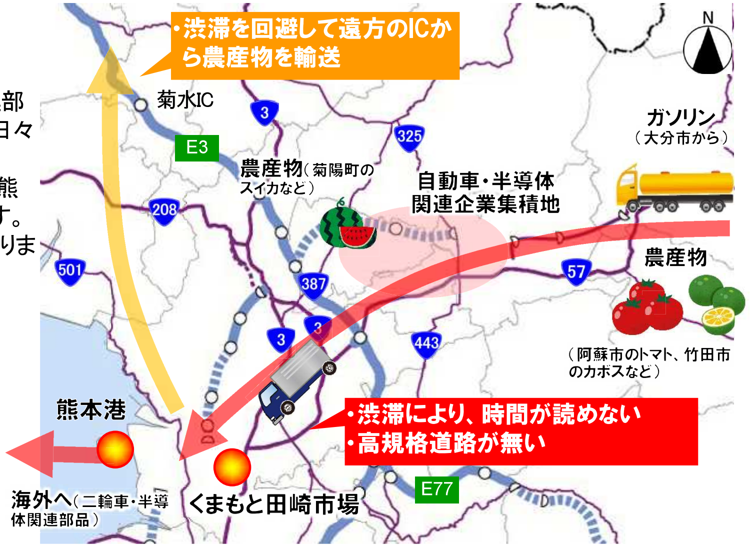
2 交通渋滞が発生し、企業の円滑な物流を阻害している

◆熊本市周辺では、自動車（二輪車）関連部品や半導体関連部品、ガソリン、農産物など、日常生活に欠かせない製品が日々輸送されています。
◆しかし、輸送の際に渋滞により時間が読めず、熊本市内や熊本港、市場、高速ICなど、物流拠点まで時間を要しています。また揺れに弱い精密機械の輸送に適した高規格道路がありません。



▲大津町～熊本港の所要時間

資料：プローブデータ（R2.10～12月平日7時台～18時台）



▲熊本市周辺の輸送状況

3 熊本市から菊池・阿蘇地域の観光地までのアクセスが悪い

◆中九州横断道路の沿線地域は、豊富な観光資源があり、熊本県・大分県内トップクラスの宿泊客数を誇っています。
◆しかし、渋滞により熊本市の玄関口である熊本駅からの移動時間が読めないなど、円滑な観光周遊が課題です。

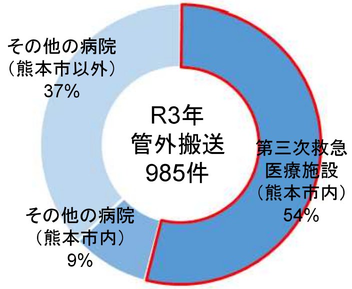
▲沿線地域の観光地

・国道57号が渋滞し阿蘇方面への移動時間が読みにくい。

資料：レンタカー業者ヒアリング結果（R4.11）

4 熊本市内の救急医療施設までの搬送に時間がかかる

◆阿蘇地域の救急搬送は、約4割が管外搬送で、半数が熊本市の第三次救急医療施設へ搬送されています。
◆熊本市内の渋滞で搬送に時間がかかっており、患者の容態にも影響を及ぼしています。



▲阿蘇地域の管外搬送の内訳

資料：阿蘇広域行政事務組合消防本部

・一般道では渋滞で動かなくなることがあり、サイレンを鳴らしても車が動けず搬送に時間がかかってしまう。

資料：消防本部ヒアリング結果（R4.8）

5 道路における災害や通行止めに不安を感じる

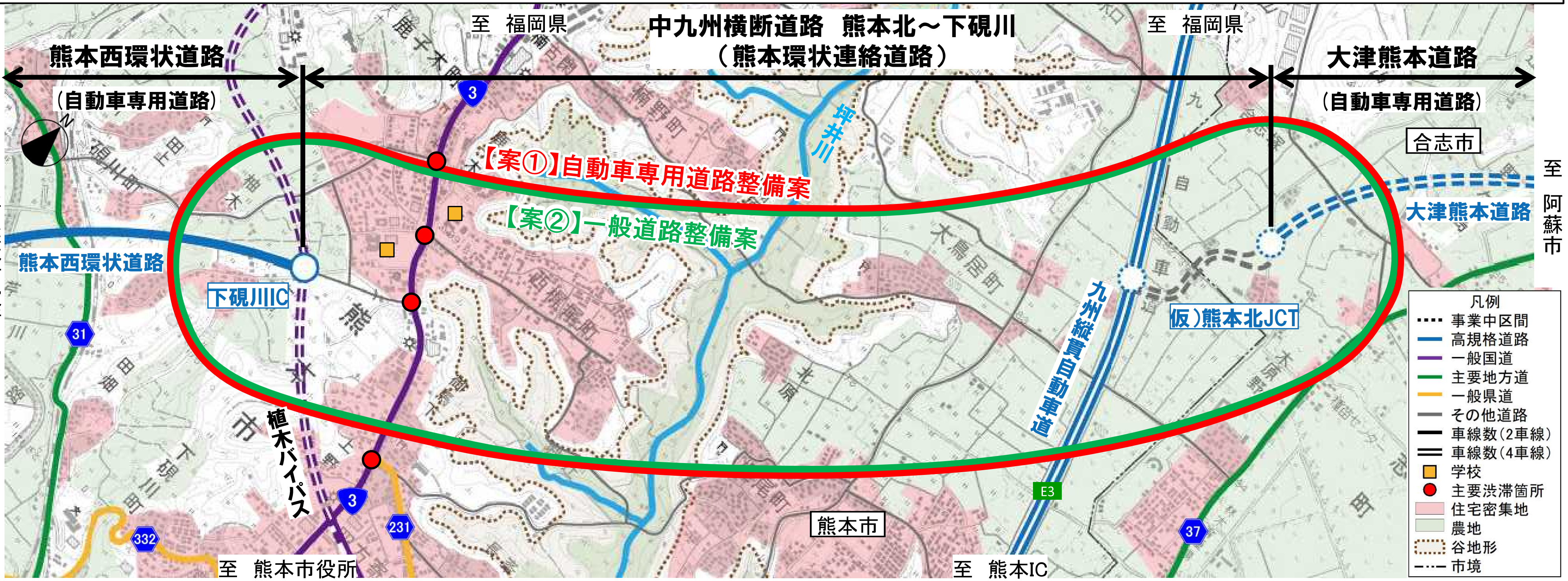
◆対象区間周辺地域は、近年、九州北部豪雨や熊本地震等により、現道の国道57号で長期の通行止めが発生しています。
◆災害時には著しい交通集中により迅速な救援活動、物資輸送に支障が生じる恐れがあります。

H28.4熊本地震の通行止め（阿蘇大橋）

H28.4熊本地震時に渋滞に巻き込まれる自衛隊車両

地域の交通課題を解決するための対策案について

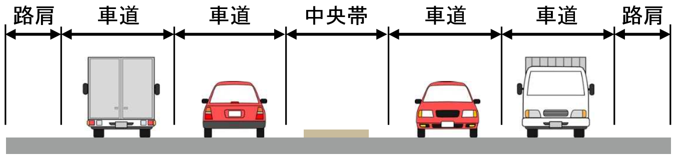
・九州縦貫自動車道（（仮）熊本北JCT）および大津熊本道路と熊本西環状道路（下硯川IC)を接続し、一連の道路ネットワークを形成することにより、課題を解決する案として2案を考えました。



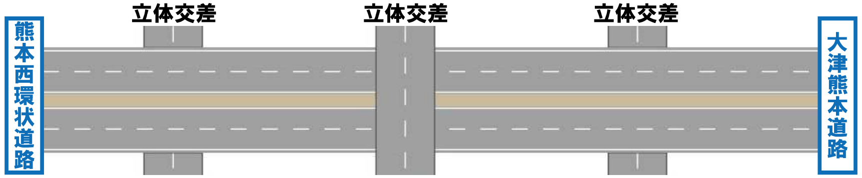
【案①】自動車専用道路整備案

国道・市道と立体で交差し、全線自動車専用で整備することで高速性に配慮した案

【横断図（イメージ）】



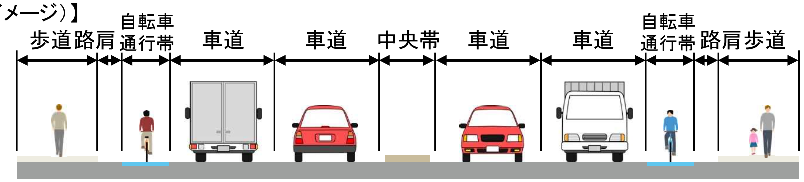
【平面図（イメージ）】



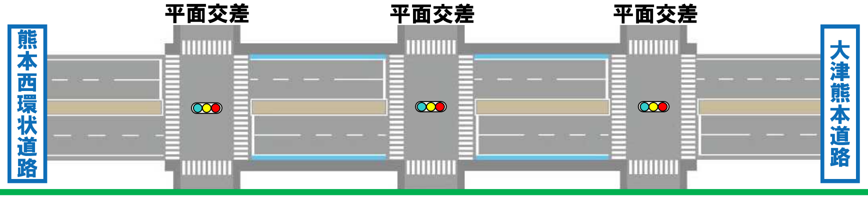
【案②】一般道路整備案

国道・市道と平面で交差し、沿道利用に配慮した案

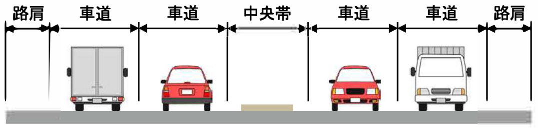
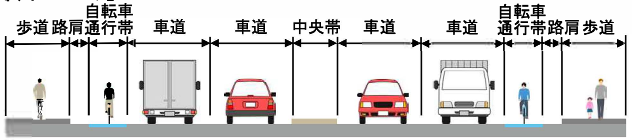
【横断図（イメージ）】



【平面図（イメージ）】



地域の交通課題を解決するための対策案の比較

評価項目					[案①] 自動車専用道路整備案	[案②]一般道路整備案
					国道・市道と立体で交差し、全線自動車専用で整備することで速達性に配慮した案	国道・市道と平面で交差し、沿道利用に配慮した案
項目				評価指標	【横断図（イメージ）】 【平面図（イメージ）】 交差点 なし	【横断図（イメージ）】 【平面図（イメージ）】 交差点 あり
政策目標	暮らし	高速性確保・渋滞緩和による生活環境の改善	①	中心部（熊本市）と周辺都市（合志市）の移動時間	・中心部と周辺都市との移動時間の短縮が図られる（整備前 約54分 ⇒ 整備後 約34分）	・中心部と周辺都市との移動時間の短縮が図られるが、平面交差点や沿道利用交通の流入による速度低下が発生するため案①に劣る（整備前 約54分 ⇒ 整備後 約39分）
			②	熊本都市圏の交通渋滞緩和	・別線整備により交通が転換するため、熊本都市圏の渋滞緩和が見込まれる	・別線整備により交通が転換するため、熊本都市圏の渋滞緩和が見込まれるものの、対象道路に生活交通が残存し、通過交通と混在するため効果は案①に劣る
	産業	高速性・定時性・走行性確保による産業の活性化	③	中心部（熊本市）と高速ICの移動時間【広域物流の効率化】	・中心部と高速道路（九州道）との移動時間の短縮が図られ、長距離輸送の効率が向上する（整備前（熊本IC） 約34分 ⇒ 整備後（熊本北JCT（仮）） 約20分）	・中心部と高速道路（九州道）との移動時間の短縮が図られ、長距離輸送の効率が向上するが、平面交差点や沿道利用交通の流入による速度低下が発生するため案①に劣る（整備前（熊本IC） 約34分 ⇒ 整備後（熊本北JCT（仮）） 約25分）
			④	産業拠点（原水工業団地）から熊本港への移動時間・定時性・走行性【物流拠点の利便性向上】	・産業拠点と熊本港との移動時間の短縮が図られ、物流拠点への定時性が向上する（整備前 約61分⇒整備後 約42分） ・自動車専用道路であるため、走行性の向上が見込まれる	・産業拠点と熊本港との移動時間の短縮が図られるが、平面交差点や沿道利用交通の流入による速度低下や定時性への影響が発生する（整備前 約61分 ⇒ 整備後 約47分） ・一般道路であるため、走行性は案①に劣る
			⑤	県庁所在地間（大分市～熊本市）の移動時間【沿線地域間の輸送効率化】	・大分市と熊本市との移動時間の短縮により、沿線地域の輸送効率化が図られる（整備前 約188分 ⇒ 整備後 約171分）	・大分市と熊本市との移動時間の短縮により、沿線地域の輸送効率化が図られるが、平面交差点や沿道利用交通の流入による速度低下が発生するため案①に劣る（整備前 約188分 ⇒ 整備後 約176分）
	観光	高速性の確保による観光振興の促進	⑥	熊本市（熊本駅）から観光地への移動時間	・熊本市（熊本駅）と観光地との移動時間の短縮が図られる（熊本駅～阿蘇市間 整備前 約96分 ⇒ 整備後 約70分）	・熊本市（熊本駅）と観光地との移動時間の短縮が図られるが、平面交差点や沿道利用交通の流入による速度低下が発生するため案①に劣る（熊本駅～阿蘇市間 整備前 約96分 ⇒ 整備後 約75分）
	医療	救急医療機関等への速達性の向上	⑦	沿線地域※1から第三次救急医療施設（熊本医療センター）への搬送時間・速達性	・沿線地域※1からの搬送時間の短縮が図られる（阿蘇市～熊本医療センター間 整備前 約97分 ⇒ 整備後 約81分） ・自動車専用道路であるため、速達性の向上が見込まれる	・沿線地域※1からの搬送時間の短縮が図られるが、平面交差点や沿道利用交通の流入による速度低下が発生するため案①に劣る（阿蘇市～熊本医療センター間 整備前 約97分 ⇒ 整備後 約86分） ・一般道路であるため、速達性は案①に劣る
	防災	災害に強い道路ネットワークの形成	⑧	災害時の対策本部（熊本地方合同庁舎）から被災地（防災拠点：道の駅旭志）への速達性	・道路ネットワークの形成により、災害時の対策本部から被災地への速達性が向上する（整備前 約77分 ⇒ 整備後 約33分）	・道路ネットワークの形成により、災害時の対策本部から被災地への速達性が向上するが、平面交差点や沿道利用交通の流入による速度低下が発生するため案①に劣る（整備前 約77分 ⇒ 整備後 約38分）
			⑨	災害時の代替機能の確保	・別線整備により代替路が確保される ・ICアクセスに限定されるため、災害時の各地点へのアクセス性の点で案②に劣る	・別線整備により代替路が確保される ・平面交差で集落周辺を通過するため、災害時の各地点へのアクセス性の点で案①より優れる
道路整備による影響	⑩			生活環境（大気）への影響	・信号による停車・発進が発生しないため、大気等への影響は小さい	・信号による停車・発進が発生するため、案①に比べて大気等への影響が大きい
	⑪			自然環境の保全（動植物への影響）	・自然環境を考慮すべき箇所を通過するため、自然環境に影響を与える可能性がある	・自然環境を考慮すべき箇所を通過するため、自然環境に影響を与える可能性がある
	⑫			沿道利用	・沿道からの利用は、ICからのアクセスに限定される	・国道3号や市道と平面交差するため、沿道住民が利用しやすい
	⑬			段階的な効果の発現	・部分的な開通ができないため、段階的な効果発現が見込めない	・平面交差であるため、交差点間で開通した箇所から効果発現が見込める
	⑭			経済性	約400～500億円	約450～550億円

評価の考え方

＜ルートを検討するうえで重視すべき事項＞

【暮らし】

① ・中心部（熊本市）と周辺都市の移動時間が短くなること

② ・熊本都市圏の交通渋滞緩和が期待できること

【産業】

③ ・中心部（熊本市）と高速ICの移動時間が短くなること

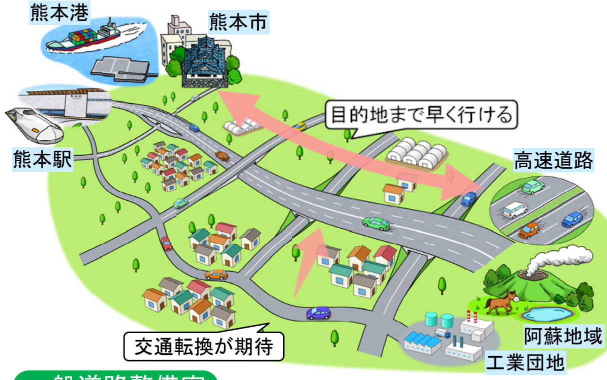
④ ・産業拠点（原水工業団地）から熊本港の移動時間が短縮し、走りやすいこと

⑤ ・県庁所在地間（大分市～熊本市）の移動時間が短くなること

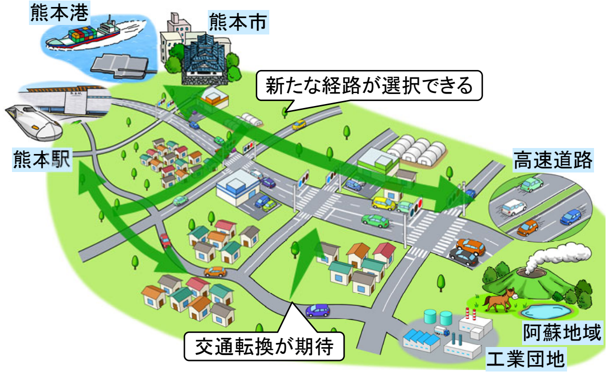
【観光】

⑥ ・熊本市（熊本駅）から観光地への移動時間が短くなること

自動車専用道路整備案



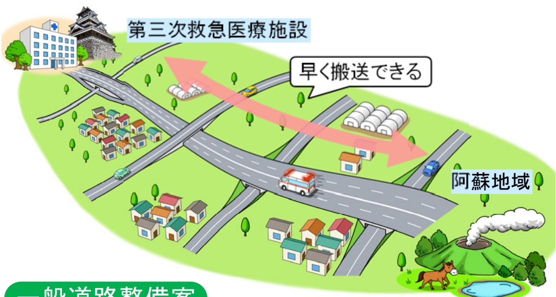
一般道路整備案



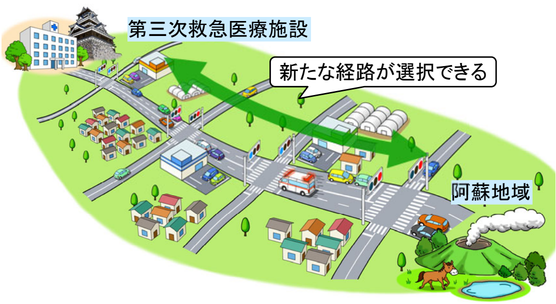
【医療】

⑦ ・沿線地域から熊本市の第三次救急医療施設への搬送時間が短くなり、搬送時の揺れが少ないこと

自動車専用道路整備案



一般道路整備案



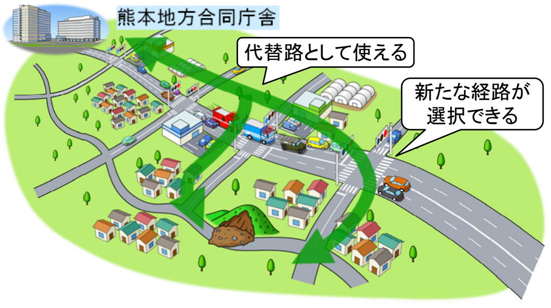
【防災】

⑧ ・災害時の対策本部（熊本地方合同庁舎）から被災地へ早く到着できること

⑨ ・災害時に国道等の代替路として利用できること

自動車専用道路整備案

一般道路整備案



【道路整備による影響】

⑩ ・生活環境（大気）への影響が小さいこと

⑪ ・自然環境への影響が小さいこと

⑫ ・沿道からの利用がしやすいこと

⑬ ・段階的に開通が図られ、早期に整備効果が発現すること

⑭ ・整備費用が安いこと

＜周辺地域にアクセスする際に重視すべき事項＞

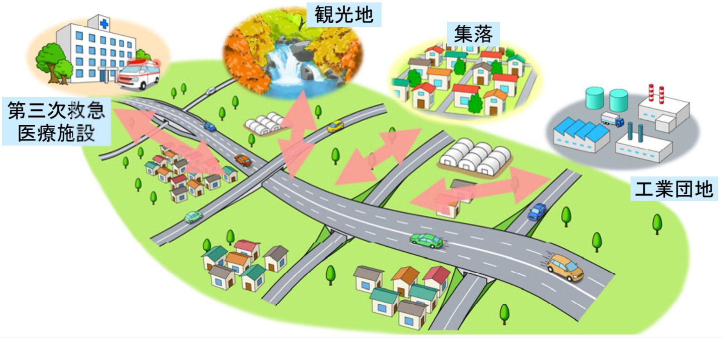
⑮ ・渋滞緩和が期待でき、生活環境の改善が図れること

⑯ ・地域の産業拠点に隣接し、熊本市内の交通拠点などに早く行けること

⑰ ・地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと

⑱ ・集落に近接し、第三次救急医療施設に早く行けること

自動車専用道路整備案



⑲ ・災害時に集落に移動しやすいこと

自動車専用道路整備案